

平成29年度 児童の学力向上に向けた取組

白石市立越河小学校

1 平成28年度の課題

児童へのアンケート「算数に対する意識調査」や年2回実施している市の学力テストの結果から次のような課題が明らかになった。

- (1) 学習問題を解く喜びを感じ、さらに学んでいこうとする意欲に欠ける。
- (2) 自分の考えをまとめ、相手に伝えようとする表現力が弱い。
- (3) 既習事項を活用して問題解決を図る力が足りない。

2 目標

☆学力向上に係る重点目標

- ・算数的活動を通して、筋道を立てて考え、表現することができる児童を育成する。

◇活動目標

- (1) ①授業実践として、全担任が最低1回の研究授業を行う。
②授業実践の前に模擬授業を取り入れ、授業者の意図や授業検討の視点を明確にする。
③課題解決の見通しをもち、理論的に考えようとする手立ての工夫として、発問を吟味する。
- (2) ①授業の終末に適用問題や小テストの時間を確保する。
②考えたことを分かりやすく表現する力を身に付けさせるため、発達段階に応じた発表のしかたを提示し、活用させる。
- (3) ①既習事項を振り返る掲示物を工夫し、課題解決の見通しを持たせる。
②「算数に関する意識調査」を実施し、児童の変容を探る。

3 目標達成に向けた具体的な取組

(1) 教員の教科指導力の向上

- ①全職員で視点に基づいての教材を研究しながら、模擬授業、授業、事後検討会のサイクルを設け、全員が年1回以上授業を提供する。
- ②成果と課題を全職員で共有し、授業づくりの力を高める。

(2) 児童の学習習慣の形成・学ぶ意欲の形成

- ①「学習のきまり」をしっかりと徹底させる。
- ②「家庭学習の手引き」の積極的な活用を啓発し、習慣化に向け支援する。
- ③ステップアップ算数・夏休み学習会、年3回漢字・計算コンクールの実施等で、基礎、基本を確実に習得させる。

(3) 教育環境基盤の充実

- ①読書タイム（朝の活動）、読み聞かせ（月1回）、読書カードを活用する。
- ②言語環境の充実・既習内容の確認や事前の振り返りができる学級内掲示物を工夫する。
- ③言語文化の充実・月ごとに、詩や古典の暗唱発表に取り組みせ、暗唱作品を掲示する。
- ④算数コーナーの設置・廊下の学習棚に単元ライブラリーの問題を入れておき、復習やつまづきを補うために使えるようにする。